

各教科等で身に付けさせたい基礎的・基本的な知識・技能等(例)

発展的な内容

●知識・技能等(例)

- (国語)
 - ・国語での要約、紹介、説明、記録、報告、対話、討論
 - ・常用漢字の読み、1000字程度の漢字の書き など
- (社会)
 - ・都道府県の名称と位置
 - ・日本の歴史の世紀などの年代の表し方と時代区分
 - ・約束や取り決め、ルールなど法の意味 など
- (算数・数学)
 - ・かけ算九九の暗誦、整数、小数、分数の四則計算の意味
 - ・長さ、面積、体積、重さ、角度、時間、速さ、人口密度
 - ・三角形、四角形、円、仮定と結論、演繹的な推論
 - ・グラフ、比、比例、関数、確率 など
- (理科)
 - ・ヒト、動物、植物のつくりについて知ること
 - ・水の三態変化、身の回りの物質・主な気体の性質について知ること
 - ・力を働かせると物体の速さが変わること、エネルギーについて知ること
 - ・地震のゆれ、天候の変化について知ること など
- (生活)
 - ・学校生活のリズムを身に付け、規則正しい生活をする
 - ・身の回りには、みんなで使うものやみんなのための施設があることがわかること
 - ・動物や植物は生命をもっていることや成長していることに気付く など
- (音楽)
 - ・音、リズム、クライマックスなど音楽の要素・曲の仕組み
 - ・国歌「君が代」の歌詞・歌唱、文部省唱歌等の歌唱共通教材
 - ・音楽の背景となる風土・文化・歴史 など
- (図画工作・美術)
 - ・色の柔らかい感じ、形の配置による動きの感じ、形や色彩の表し方
 - ・生活用品、建物、ポスターなどデザインの働き
 - ・表現する人の思いや感じ方の理解 など
- (家庭・家庭技術)
 - ・材料と加工法、製作物
 - ・情報処理、情報モラル、セキュリティ
 - ・エネルギー変換、動力伝達
 - ・日常の基本的な調理、栄養素の働き、衣服・住居の管理
 - ・家庭の仕事への協力、家族のかかわり、幼児の発達
 - ・地域の生活、環境、福祉、金銭の計画的な使用、消費者保護 など
- (体育・保健体育)
 - ・短時間に集中的に力を発揮すること、持続的に力を発揮すること、柔軟性を発揮すること、巧みに身体を動かすこと
 - ・運動やスポーツの動き、運動や健康に生活するために必要な体力、けがの知識
 - ・健康に関する情報を正しく判断し、行動に結び付けること など (睡眠、欲求・ストレス、病気・薬、環境衛生、事故・災害など)
- (外国語)
 - ・英語でのあいさつ、自己紹介、説明、質問、お礼
 - ・アルファベットの大きさ、小文字、疑問符、感嘆符、終止符、基本的な慣用表現 など

各教科等・総合的な学習の時間で身に付けさせたい力(例)

※ ●のカッコ内の丸数字は、関係する「生きる力の主要例(案)」

●情報を獲得し、思考し、表現する力(例) (④・⑥・⑩・⑫)

- ・文章や資料を読んだうえで、自分の考えをA4一枚(1000字程度)で表現する。
- ・芸術作品について、自分なりの解釈を持ち、批評文を書く。
- ・自然現象や社会現象に関する様々な情報や意見を分類整理し、関連付けたりしながらグラフや図表などを用いて分かりやすく表現する。

●体験から感じ取ったことを表現する力(例) (①・⑥・⑨)

- ・日常生活や体験的な学習活動の中で感じとったことを言葉や歌、絵、身体を用いて表現する。
- ・自国の歴史や他国の歴史、文化、社会などから自分たちとは違う世界を想像し、共感したり分析したりしたことを表現する。

●知識・技術を実生活で活用する力(例) (②・③・⑦・⑪)

- ・寒冷前線が通過すると気温が下がると予想し、外出するときに上着を持っていくと判断する。
- ・携帯電話の料金について関数の考え方をを用いて、変化や特徴をとらえる。
- ・長雨で野菜が高騰することについて需要、供給、価格などの概念をとらえる。
- ・衣食住や消費、健康や安全に関する知識を生かして生活を自己管理する。

●構想を立て、実践し、評価・改善する力(例) (③・⑥・⑫)

- ・理科研究等において、仮説を立て、実験・観察を行い、その結果を考察し、表現したり改善したりする。
- ・根拠を明確にして、筋道立てて論理的・創造的に考えることができる
- ・芸術表現等において、構想を練り、創作活動を行い、その結果を評価し、工夫・改善する。

●自尊感情、生命尊重、自己管理、将来設計(例) (①・②・④・⑥・⑧・⑨・⑩)

- ・自分自身の良さや個性を見出す。
- ・早寝早起き朝ごはんなどの生活リズムを身に付ける。
- ・自他の生命を愛しみ、自然を大切に、畏敬の念をもつ。
- ・学ぶこと、働くこと、生きることの尊さを実感をもって理解する。
- ・学びや生活の目標を立て、その実現のために忍耐力を持って粘り強く取り組む。
- ・生涯にわたり運動やスポーツ、文化や芸術、読書に親しむ。

●人間関係、共感・協力(例) (③・⑤・⑥・⑦・⑧)

- ・弱い者いじめをしないなど他者を思いやる。
- ・他者に感謝したり、協力したりする。
- ・あいさつやマナーの基本を理解実践できる。
- ・家族や学校、地域社会の一員として身近な人々を豊かな人間関係を築ける。
- ・正義や公正さを重んじてトラブルを解決する。

●共生、社会参画(例) (③・⑦・⑧)

- ・法や社会のきまりを守り、民主主義などの考え方を実践する。
- ・自他の権利を尊重して、義務を果たす。
- ・歴史上の先人たちが、我が国の社会の発展に果たした役割を考える。
- ・社会、国家、国際社会に積極的に参加し、その発展に貢献していく。

生きる力の主要例(案)

※ ●のカッコ内は当該能力が必要となる生活の主な場面

●主体性・自律性 (個人生活)

- ① 自尊感情
- ② 健康と体力
- ③ 意思決定能力
・選択能力
- ④ 将来設計能力
・役割把握・認識・実行力

●自己と他者との関係 (学校・家庭生活)

- ⑤ 協調性
- ⑥ 人間関係形成力
・自己理解能力
・コミュニケーション能力
- ⑦ 利害調整力
・きまり
・正義、公正

●個人と社会との関係 (職業・地域生活)

- ⑧ 社会参加、社会貢献
- ⑨ 感性・想像力・鑑賞力 (芸術・自然の美)
- ⑩ 言語・情報活用力 (言語)
- 知識・技術活用力
- ⑪ 職業理解(勤労) 文化理解(自国・外国)
- ⑫ 課題発見・課題解決力
・計画・実践・評価力

実社会・実生活